

小学校 社会科学習指導案

教育学部学校教育課程 社会専修

B4E12018 神谷有紀

1 単元名 蓮田市のヒーロー！飯野喜四郎！

2 単元の目標と評価

(1) 目標

身近な地域の開発や発展に尽くした先人である飯野喜四郎に関心をもち、産業や教育、社会事業の発展のために飯野喜四郎がどのような働きをしたのか資料を活用して調べたり、分かったことを整理して新聞にまとめたりして、飯野喜四郎の苦労や願いについて理解する。また、地域に対する誇りと愛情をもち、自分たちには何ができるのか考えることができるようにする。

(2) 評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用 の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
<p>○地域の発展に尽くした先人の働きに関心をもち、その苦労や工夫・努力、願いを進んで調べようとしている。</p> <p>○先人の働きが地域社会の生活向上につながっていることに誇りと愛情をもち、これからの地域のよりよい発展を願っている。</p>	<p>○昔の人々の生活の様子や土地の条件などを現在と比較し、先人の働きによって地域の人々の生活が向上したことを判断し、先人の努力や苦労、願いがあったことを自分なりに表現している。</p> <p>○先人は、なぜ地域のために様々な努力をすることができたのかを考えている。</p>	<p>○碑文の文章や年表、白地図などの資料を利用して必要な情報を集め、地域の発展に尽くした先人の働きや努力を読み取っている。</p> <p>○調べたことや考えたことを整理して、自分なりに工夫しながら新聞に分かりやすくまとめている。</p>	<p>○先人が、地域をなぜ、どのように発展させたのか、それにはどのような工夫・努力、苦労や願いがあったのかを理解している。</p> <p>○先人の工夫や努力、苦労、願いを理解し、先人の働きが地域の発展につながったことを具体的にとらえている。</p>

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領第4学年の内容(5)「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」に基づいて設定したものである。「次のこと」とは、ア「古くから残る暮らしに関わる道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子」、イ「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」、「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」の3つを指している。ここでは、その中のウ「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を扱う。「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を調べるとは、開発、教育、文化、産業などの面で地域の発展に尽くした先人の具体的事例のいずれかを取り上げ、地域の発展に対する先人の願いや工夫・努力、苦勞、地域の人々の生活が向上したことなどを具体的に調べることである。

今回扱う飯野喜四郎は、明治元年6月、綾瀬村(現蓮田市)に生まれた。喜四郎の父、飯野吉之丞(きちのじょう)らは明治18年、東北本線が開通の際に駅の敷地を寄附して蓮田駅を開設させ、蓮田の基礎をつくった。明治18年、喜四郎が17歳のとき吉之丞が病気で亡くなる。喜四郎は蓮田の発展を願った父の考えを継ぎ、明治20年飯野運送店を開業、開通した東北本線で蓮田の特産物である甘藷を東北地方に販売した。大正8年には武州鉄道株式会社を設立し、大正13年に武州鉄道を蓮田から岩槻間に開通させ更に産業の発展に尽くした。

また喜四郎は若くして政治を志し、明治27年25歳で県議会議員となる。その後11回も当選し埼玉県議会議長、政友会埼玉県幹事長を歴任し、埼玉県の発展に貢献した。特に県東部の教育の普及と向上に力を注ぎ、粕壁中学校(現在の春日部高等学校)を開設、その後、浦和高等学校(現在の埼玉大学)を設置するなど教育発展のために尽力した。

治水事業や農業の発展にも力を注ぎ、県内でおきた大水害を見てきた喜四郎は、県民が安心して暮らし、産業を発展させるためには治水事業をすすめる必要のあることを訴え、河川の改修問題に取り組み、古利根川・元荒川・中川・綾瀬川の改修を行った。また耕地整理の問題に取り組み、蓮田や新方領などの事業を成功させ農業の発展にも尽くしている。

本単元では、蓮田市の発展に尽くした先人である飯野喜四郎を取り上げ、昔も今も変わらず、よりよい生活を求めて努力している人々がいることを捉えさせる。また、飯野喜四郎の願いや工夫・努力、苦勞、地域の人々の生活が向上したことなどを学ばせることにより、蓮田市への誇りと愛情につなげたい。さらに、蓮田市のこれからのために自分たちには何ができるかということを考えさせたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、学校の周りの様子や市の様子について、3年生で学習してきた。町探検など、生活科とも関連して、蓮田市に飯野喜四郎像があることは知っているはずである。また、これまでの学習を通して、自分たちの住む地域には人々の暮らしをよりよくするための社会的なしくみや施設が整えられていること、多くの人々の努力や工夫、協力によつ

て現在の自分たちの生活が支えられていることを理解してきた。しかし、地域の人々の努力について気づくことはできても、今後自分たちには何ができるのか考えるという力は不足しているように感じられる。さらに、自分の考えを表現したり発表したりすることが苦手な児童もいるため、グループ活動や新聞を作って発表する活動を積極的に取り入れていきたい。

(3) 指導観

本単元の「つかむ」段階では、蓮田市にある飯野喜四郎像の写真や資料を提示することで、蓮田市の発展に尽くした人物の存在を意識させ、今後の学習の見通しを持たせられるようにする。その中で、グループで話し合う活動を取り入れ、児童同士の交流を深められるようにする。

「しらべる」段階では、複数の資料をもとに先人の業績を読み取ったり、蓮田市の過去と現在の様子を比較したりしながら主体的に学ぶ姿勢を育み、産業や教育など多面的に蓮田市がどのように発展したのか理解させるようにする。

「かंगाえる」段階では、先人の努力や苦勞を、資料を用いながら具体的に捉え、先人を取り巻く環境や関係性などを踏まえながら考えさせ、先人たちの思いに気づかせるようにする。また、自分たちの身近な地域の歴史にも触れることになるため、6年生の歴史学習への土台を築けるよう、児童の意欲を引き出していく。

「ふかめる」段階では、これまでに分かったことや調べたことをもとに、新聞作りという作業を通して、自分たちの先人に対する思いを深めさせるようにする。

「いかす」段階では、先人の工夫・努力、苦勞や願いを理解した上で、地域のために自分たちには何ができるのか考えさせる。また、生活科や3年生の社会科で学んだことを本単元と結びつけながら、地域に協力しようとする態度や地域への愛着をもたせるようにする。

4 指導計画（12時間扱い）

次	時	主な学習活動	各時間の評価規準
1	1	○なぜ飯野喜四郎像がつくられたのかを考える。 ・飯野喜四郎像の写真を見る。 ・以前の蓮田駅、現在の蓮田駅の写真を見る。 ・資料をもとに、それぞれ考えたことを発表し、今後の学習について見通しをもつ。	ア 飯野喜四郎像について、意欲的に話し合い、発表している。 イ なぜ飯野喜四郎像がつくられたのかを考え、自分の考えを表現している。
2	2	○飯野喜四郎とはどのような人物なのかを考える。	ウ 資料をもとにして、

し ら べ る		<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取り、蓮田駅周辺の開発と産業の発展について確認する。 県内の教育の発展について確認する。 河川の修繕について確認する。 武州鉄道の開通について確認する。 	<p>飯野喜四郎についてまとめている。</p> <p>エ 喜四郎の働きが、地域の発展につながったことを具体的に捉えている。</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○蓮田駅や鉄道を作る際の苦労について知る。 ・鉄道が通る前と鉄道が通った後の蓮田市について比較する。 ・昔の蓮田駅と今の蓮田駅を比較し、「もし蓮田駅がなかったら」と考える。 ・飯野喜四郎の蓮田市を思う心に気づき、喜四郎の苦労についてまとめる。 	<p>イ 町づくりについての、鉄道の役割を考え、蓮田市の変化の様子を整理している。</p> <p>エ 喜四郎の蓮田市を思う心に気づき、鉄道によって蓮田市が発展したことを理解している。</p>
か ん が え る	3	<ul style="list-style-type: none"> 4 ○なぜ甘藷をわざわざ東北地方で売っていたのかを考える。 ・甘藷の写真や地図を見る。 ・課題について予想し、発表する。 ・東北地方ではたくさん木炭や石炭が採れることに気づく。 ・地図を確認し、東北地方で木炭や石炭が採れることに気づく。 ・蓮田市の人々は石炭を手に入れるために甘藷を東北地方に売っていたことをまとめる。 	<p>ア 自分や班での考えを積極的に発表している。</p> <p>イ 喜四郎や人々の思いについて考えている。</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ飯野喜四郎は私財を使って蓮田市を発展させたのかを考える。 ・資料から、私財を投じられるほど代々裕福な家柄だと理解し、私財を蓮田市の発展に使っていたことを確認する。 ・なぜ飯野喜四郎は蓮田市のために私財を投じたのか考える。 ・蓮田市に貢献した喜四郎の父の業績を確認し、父や当時の人々の思いや願いに気づく。 	<p>イ 喜四郎や人々の思いについて考えている。</p> <p>ウ 資料をもとにして、飯野喜四郎についてまとめている。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・代々受け継いできた使命感や、人々の生活を向上させたいという喜四郎の思いを理解する。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ人々は教育を受ける必要があったのかを考える。 ・喜四郎が設置や開設に携わった学校の写真や資料から、喜四郎が学校を開設したことを確認する。 ・なぜ人々は教育を受ける必要があったのか考え、発表する。 ・欧米の国々に追いつき、対抗しようという日本の思いがあったことに気づく。 ・日本の状況を踏まえ、喜四郎の思いを考える。 	<p>イ 日本や喜四郎の思いについて考えている。</p> <p>ウ 資料をもとにして、飯野喜四郎についてまとめている。</p>
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ飯野喜四郎は河川の改修に取り組んだのかを考える。 ・地図など資料から、他の地域と協力しながら河川の改修をしたことを確認する。 ・なぜ喜四郎は河川の改修に取り組んだのか考え、個人や班で発表する。 ・埼玉県で大水害が起き、町に被害があったことに気づく。 ・大水害を見てきた喜四郎の思いを考える。 	<p>イ 治水事業に取り組む喜四郎の思いについて考えている。</p> <p>ウ 資料をもとにして、飯野喜四郎についてまとめている。</p>
4 ふ か め る	8	○飯野喜四郎新聞を作る。	<p>ア 調べたことを分かりやすく表現しようとしている。</p> <p>ウ 調べたことを整理・工夫して新聞に分かりやすくまとめている。</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・資料集や図書室、インターネットを利用して新聞作りの資料を収集する。 ・調べたことをもとにして、班ごとに新聞作りをする。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞の発表会をする。 ・班ごとにそれぞれのテーマに沿った新聞を発表する。 	<p>ア 調べたことを分かりやすく伝えたり、友達の発表を聞いたりしている。</p>
5 い か	11	<ul style="list-style-type: none"> ○人々は、飯野喜四郎のことをどう思っていたのかを知る。 ・飯野喜四郎像の碑文を読み、碑文に込められた人々の思いを考える。 	<p>イ 碑文に込められた人々の思いについて考えている。</p>

す		・人々の喜びや飯野喜四郎に対する感謝の気持ちに気づき、理解する。	
	12	○蓮田市のために、自分たちには何ができるか考える。 ・蓮田市のために、自分たちにできることを考え、発表する。	ア 地域に協力していこうとする態度と、地域への愛着が見られる。

5 本時の学習（1/12時間目）

（1）本時の目標

蓮田市に飯野喜四郎像がつくられた理由を考え、飯野喜四郎に関心をもつ。

（2）評価規準

- ・飯野喜四郎に関心をもち、意欲的に話し合いに参加しているか。（ア 関心・意欲・態度）
- ・資料から、なぜ飯野喜四郎像がつくられたのかを考え、自分の考えを表現することができたか。（イ 思考・判断・表現）

（3）準備

- ・飯野喜四郎像の写真
- ・蓮田駅の写真
- ・配布資料

（4）展開

過程	教師の指導	児童の活動	☆指導上の留意点 ★評価
導入 8分	○飯野喜四郎像の写真を見せる。 「この写真を見てください。この像、一度は見たことがあるかもしれませんが、誰だか分かりますか。」 「なぜ堂山公園にあるのでしょうか。実は、堂山公園は、飯野喜四郎の家があった場所です。」	・飯野喜四郎 ・町探検の時に見た。 ・堂山公園にあった。 ・広いから。 ・みんなに見てもらえるから。	☆写真を提示し、児童が視覚的に捉えられるようにする。

	<p>○以前の蓮田駅、現在の蓮田駅の写真を見せる。</p> <p>「次はこれを見てください。この写真は、みなさんが生まれるずっと前に撮ったものです。この場所、今でいうとどこだか分かりますか。みなさんも出かける時に利用することもあるかもしれませんね。」</p> <p>○本時の課題を提示する。</p> <p>「実は、蓮田駅は、飯野喜四郎…のお父さんがつくりました。でも、なぜお父さんではなく、飯野喜四郎の像がつくられたのでしょうか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かの家かな。 ・蓮田駅かな。 ・駅をつくるって大変そう。 <p>○課題を把握する。</p>	<p>☆写真を提示する。</p> <p>☆児童にとって身近な場所を話題にすることで、飯野喜四郎が遠い存在であると感じさせないようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">なぜ飯野喜四郎像がつくられたのだろうか。</div>		
展 開 3 2 分	<p>○資料を配布し、自分の考えをノートに書かせる。</p> <p>「グループの人に予想を伝えられるように、まずは個人で考えてみましょう。」</p> <p>○個人の考えをもとにグループで話し合い、ノートに書かせる。</p> <p>「自分の考えや分かったことをグループの人に発表して、話し合しましょう。話し合っただけで出た意見は、いくつでもいいのでノートに書いておいてください。」</p>	<p>○個人で考えたものをノートに書く。</p> <p>○自分の考えを発表し、グループ内の意見をノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・像がつくられるということは、飯野喜四郎は偉い人だった。 ・お父さんよりも活躍したから。 ・多くの仕事をして、蓮 	<p>☆年表と、碑文についての資料を配布する。</p> <p>★自分の言葉でノートに考えを書けているか。（思考・判断・表現）</p> <p>☆机を動かしてグループ活動をさせる。</p> <p>★話し合いに積極的に参加しているか。（関心・意欲・態度）</p>

	<p>○グループごとに発表させる。</p> <p>「ノートに書いた内容をグループごとに発表してください。他のグループと同じ意見があっても構いません。」</p>	<p>田市の人々のために働いたから。</p> <p>○グループごとに発表し、他のグループの考えはメモを取る。</p>	
まとめ 5分	<p>○まとめを行う。</p> <p>「飯野喜四郎は、蓮田市の発展に力を注いだから像がつけられました。お父さんも立派な人ですが、それ以上に蓮田市の発展に関わったようですよ。」</p> <p>「次の時間は、飯野喜四郎が蓮田市のために具体的にどんな働きをしたのかを学習しましょう。」</p>	<p>○まとめをする。</p> <p>・ノートに記入する。</p>	<p>☆飯野喜四郎が蓮田市の発展に関わった人物であることに気づかせ、関心をもてるようにする。</p> <p>☆次回の授業の予告をして、見通しをもたせる。</p>

(5)板書計画

なぜ飯野喜四郎像がつけられたのだろうか。

資料1

児童の考え

資料2

資料3

<まとめ>

飯野喜四郎は、蓮田市の発展に力を注いだから像がつけられた。

(6) 資料

資料 1



出典：<http://www.geocities.jp/douzouz/mokuji.htm>

資料 2



出典：副読本「はすだ」

資料 3



出典：<http://sumai.itot.jp/polusmile/31>

【 飯野喜四郎の年表 】

年	できごと
1868	・蓮田に生まれる。
1886	・父(きちのじょう)、蓮田駅を開せつさせる。
1887	・家業をうけつぐ。(父病死)
1888	・蓮田駅に飯野運送店を開業する。
1892	・蓮田の特産物(かんしょ)を東北地方に売る。
1895	・埼玉県議員となる。
1908	・蓮田学校(今の蓮田南小)をつくろうと提案する。
1911	・河川の改しゅう問題に取り組む。
1925	・武州鉄道を開通させる。
1941	・73才でなくなる。

【 ひ文に書かれた内容 】

喜四郎は、県内の産業・教育・土木・治水など、多くの仕事をした。・
.....

喜四郎は、心が広く、人に対しては、かざりけなく、せい実で情け深かった。

昭和十三年四月三日

